

コース名		科目名			対象学年			
個体の反応 病因と病態		生体と微生物2 (ウイルス)			2			
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料		
2 学期		齊藤 峰輝				無		
授業到達目標								
1. ウイルス粒子の構造を図示し、各部の機能を説明できる。 2. 構造と性状によりウイルスを分類できる。 3. ウイルスゲノムの転写、複製を説明できる。 4. ウイルスの生活環の各過程を説明できる。 5. ウイルス感染細胞に起こる変化を説明できる。 6. ウイルス感染の種特異性、組織特異性と病原性を説明できる。 7. 主な感染様式の具体例を説明できる。 8. ウイルスに対する液性免疫、細胞性免疫を説明できる。 9. ウイルス感染予防ワクチンの種類、原理と問題点を説明できる。 10. 主なウイルス学的検査法の原理とその意義を説明できる。 11. 主要なウイルス感染症の病態と疫学について説明できる。 12. 主要なウイルス感染症の予防、診断、治療法について説明できる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1・2	9/ 2	月	2・3	講義	齊藤	微生物	ウイルス学総論	C-3-1)-(1), C-3-1)-(1)-1 C-3-1)-(1)-2
3・4	9/ 4	水	4・5	講義	堺	微生物	ウイルスの生活環・ウイルスの増殖と定量法・ウイルスの実験室内診断法	C-3-1)-(1)-3, C-3-1)-(1)-4
5・6	9/ 6	金	2・3	講義	齊藤	微生物	ウイルスに対する液性免疫と細胞性免疫	C-3-1)-(2), C-3-1)-(2)-1
7・8	9/ 9	月	1・2	講義	齊藤	微生物	ワクチンによるウイルス感染・発症予防	C-3-1)-(2), C-3-1)-(2)-1 C-3-1)-(2)-2, C-3-1)-(2)-3
9・10	9/13	金	2・3	講義	齊藤	微生物	小児のウイルス感染症	C-3-1)-(3), E-2-4)-(1)-2 E-2-4)-(1)-3, E-2-4)-(1)-4 E-2-4)-(1)-5, E-2-4)-(1)-7 E-2-4)-(1)-8
11・12	9/18	水	4・5	講義	齊藤	微生物	人獣共通感染症	C-3-1)-(3), E-2-1)-7
13・14	9/20	金	2・3	講義	齊藤	微生物	ヘルペスウイルス	C-3-1)-(3)-1, D-3-4)-(7)-5 E-2-4)-(1)-4, E-2-4)-(1)-7 E-2-4)-(1)-8, E-2-4)-(4)-4
15・16	9/25	水	4・5	講義	堺	微生物	インフルエンザウイルス (1)	C-3-1)-(1)-6, C-3-1)-(3)-2 E-2-4)-(1)-1
17・18	9/27	金	2・3	講義	堺	微生物	インフルエンザウイルス (2)	C-3-1)-(1)-6, C-3-1)-(3)-2 E-2-4)-(1)-1
19・20	9/30	月	1・2	講義	齊藤	微生物	肝炎ウイルス	C-3-1)-(3)-1, C-3-1)-(3)-2 D-7-2)-1, D-7-4)-(5)-1 D-7-4)-(5)-2
21・22	10/ 2	水	4・5	講義	齊藤	微生物	新興、再興ウイルス感染症	C-3-1)-(3)-1, C-3-1)-(3)-2 E-2-1)-7
23・24	10/ 4	金	2・3	講義	齊藤	微生物	レトロウイルス	C-3-1)-(3)-3, D-1-4)-(4)-5 E-2-4)-(1)-6, E-2-4)-(1)-9
25・26	10/ 7	月	1・2	講義	齊藤	微生物	腫瘍ウイルスと発癌	C-3-1)-(3)-1, C-3-1)-(3)-2
27・28	10/10	木	2・3	講義	齊藤	微生物	プリオン	E-2-4)-(1), E-2-4)-(1)-10
29・30	10/11	金	4・5	講義	齊藤	微生物	その他のウイルス感染症	C-3-1)-(3)
31・32	10/21	月	5・6	講義	齊藤	微生物	まとめと演習問題の解説	C-3-1), C-3-1)-(1) C-3-1)-(2), C-3-1)-(3)
33~35	10/25	金	4~6	実習	齊藤・沖野 堺・後川 内藤・森	微生物	インフルエンザウイルスの定量実験 (プラークアッセイ、赤血球凝集試験)	C-3-1)-(1)-4, C-3-1)-(1)-5 C-3-1)-(3)-2

36~38	10/28	月	4~6	実習	齊藤・沖野 堺・後川 内藤・森	微生物	抗インフルエンザウイルス抗体 の定性実験（赤血球凝集抑制試 験） 麻疹ウイルス感染細胞の観察	C-3-1)-(1)-4, C-3-1)-(1)-5 C-3-1)-(3)-2
39~41	10/29	火	4~6	実習	齊藤・沖野 堺・後川 内藤・森	微生物	インフルエンザウイルスの定量 実験（プラークアッセイ） レポート作成	C-3-1)-(1)-4, C-3-1)-(1)-5 C-3-1)-(3)-2
	11/ 2	土	2	講義末 試験			講義末試験	C-3-1), C-3-1)-(1) C-3-1)-(2), C-3-1)-(3)
<b>評価方法</b>								
<p>[講義末試験]70%</p> <p>[実習点]20%</p> <p>[出席状況（受講態度）]10%</p> <p>[評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験、出席・受講態度評価、論文・レポート、実習態度評価</p> <p>[備考]講義末試験および演習の成績、講義・実習への出席・取り組み、実習レポートを総合して評価します。</p>								
<b>課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて</b>								
実習のレポートは添削後、講義末試験終了時（試験当日）に返却する。								
<b>教科書</b>								
ISBN-9784524254835, シンプル微生物学 改訂第6版, 小熊 恵二・堀田 博・若宮 伸隆（編集）, 南江堂, 2018/03/05								
<b>参考書</b>								
ISBN-9784621088135, ブラック微生物学 第3版, 林 英生・岩本 愛吉・神谷 茂・高橋 秀実（監訳）, 丸善, 2014/03/25								
ISBN-9784525161149, 戸田新細菌学 「改訂34版」, 吉田 眞一・柳 雄介・吉開 泰信（編集）, 南山堂, 2013/08/05								
<b>準備学習（予習・復習等）</b>								
教科書、参考書、講義プリントで学習すること。 講義終了後に教科書（余裕があれば参考書も）の該当箇所を通読すること。								
<b>講義についての注意事項</b>								
細かな行動目標（到達目標）は、講義毎にプリントで示します。教科書、参考書等で復習する時、どこを勉強すべきかの参考 にしてください。								
<b>昨年度からの変更点・改善項目</b>								
教科書を「シンプル微生物学」に変更した。予習・復習および試験対策のために必ず購入すること。 平成28年度に全面的に変更した実習内容について、より理解しやすいように一部変更した。 講義内容について、より理解しやすいように一部変更した。								
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について</b>								
1年次に学修する医用生物学に続く科目である。4年次学修科目である感染症理解のための基礎医学である。								
<b>ナンバリング</b>								
BPVI215								